

2017年7月5日（水）～7月7日（金）神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント（○）
2. 国際都市神戸と世界の文化（ ）
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（ ）
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸（ ）
5. その他（ ）

[概要]

震災（Disaster）・復興（Reconstruction）・減災（Reduction）・レジリエンス（Resilience）

をテーマとした東京研修プログラム

1. テーマ

神戸大学附属中等教育学校SGH「震災・復興とリスクマネジメント」

震災（Disaster）・復興（Reconstruction）・減災（Reduction）・レジリエンス（Resilience）をテーマとした東京研修プログラム

2. 目的

東京研修や被災地訪問・学校交流を通して、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

- ①身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう自然災害について学ぶ。
- ②震災の記憶をどのように後世に伝えていくかを考える。
- ③人文科学・自然科学の両面から震災を捉え、理解する。
- ④上記活動を通して、他を思いやることのできる生徒を共に目指すことを主たる目的とする。

3. 行程

7/5（水）	東京大学地震研究所見学
	復興庁（福島復興再生総局長）・プレゼン・ディスカッション
	国土交通省・観光庁
	洲崎神社（津波の碑）
	早稲田大学減災サークル所属学生との懇談

7/6（木）	東京消防庁本所防災館（防災体験）
	気象庁見学（火山・地震現業室見学）
	東京臨海広域防災公園（そなエリア東京）見学 お台場→レインボーブリッジ→東京タワー（徒歩による模擬災害発生避難）

7/7（金）	東京スカイツリー構造ガイドツアー
	横浜サイエンスフロンティア高校交流 SGH・SSH 校交流

4. 活動の様子



東京大学地震研究所



復興庁



国会議事堂前



国土交通省 1



国土交通省 2



東京消防庁本所防災センターでの体験活動



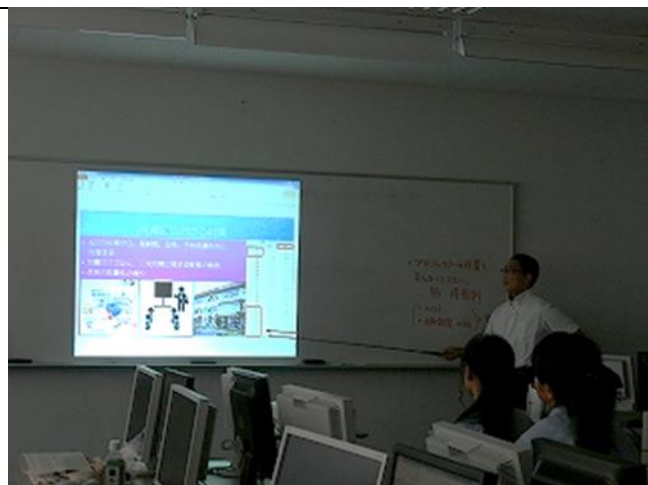
東京臨海広域防災公園→レインボーブリッジ



レインボーブリッジ→東京タワー



そなエリア



横浜サイエンスフロンティア高校での発表



横浜サイエンスフロンティア高校との交流



東京スカイツリー見学

5. 参加生徒の所感

東京研修では、東京大学地震研究所を訪れ、観測方法など地震や津波の根本的な部分について深く知ることができました。また、消防庁本所防災館では体験を通して自発的に学びました。今回の東京研修を通して今後の DR3 プロジェクトのあり方についても考えることができました。DR3 プロジェクトが小学生などに減災や震災、復興を広めていく中で活かせる研修となりました。

今回の東京研修では、普段神戸では学べないようなことをたくさん学ぶことができました。研修の中で、訓練とは、避難の仕方を知るだけでなく、繰り返し行うことで体に染みつけておくべきものだと思います。今回訪れた施設、省庁、大学、出会った人々は全て神戸では経験できないこと、人ばかりで、こんなにも充実した3日間を過ごしたのは初めてかもしれないと思いました。東京研修での学びは、KP 卒業研究のための学びだけではなく、これからも起こると予想されている様々な災害に対応するための学びとなりました。今回の貴重な経験をたくさんの人に広め、災害の被災者が少しでも減るような取り組みをしていきたいです。

私は東京研修を通して、たくさんの知識を身に着けることができました。今までは被災者と話す中で、心の面での復興の不十分さを感じていたけれど、東京では実際に行われている技術や、政府は何を行っているのかについて知識を得ることができました。世界中で防災意識が広まっていることを知り、震災に対しての対応も学びました。それぞれの立場の方とお話することでたくさんの立場から震災を捉えられました。どの体験からも、自分がいかに震災を甘く考えていたかを感じました。学校ではどのような震災対策がとられており、それが十分なのかも DR3 プロジェクトで検証してみたいです。

今回の東京研修では、非常に密度の濃い時間を刻むことができたと感じています。日頃、DR3 プロジェクトとして活動する中で「日本の中心地である東京でどのような減災活動や震災に対する活動が行われているのか」「震災を知らない子供たちが増える中でどのようにして意識向上させるのか」について解き明かすことができました。また、子どもたちが実践型で深く理解するために作成されている減災・防災教育の基礎を知ることができ、DR3 プロジェクトでも活用することができるのではないかと思います。